

札幌市環境プラザ事業検討部会
平成23年度第2回実施概要

1 日 時

平成24年1月18日（水）午後7時～午後9時

2 会 場

札幌エルプラザ公共施設2階 会議室1・2

3 出席者

(1) 委 員

内山委員、今委員、白崎委員、新保委員、鈴木委員、成田委員、桧山委員、
本富委員、宮森委員、森山委員

(2) 札幌市

札幌市環境局、環境計画課長、環境教育担当係長、環境教育担当

(3) 事務局

財団法人札幌市青少年女性活動協会市民参画部長、市民参画課長、主任指導員、
指導員

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 札幌市環境局あいさつ

(3) 議 事

①平成23年度札幌市環境プラザ事業報告（中間）

②平成24年度札幌市環境プラザ事業計画

(4) 札幌エルプラザ公共4施設館長あいさつ

(5) 閉 会

5 議事概要

(1) 平成23年度札幌市環境プラザ事業報告（中間）

(2) 平成24年度札幌市環境プラザ事業計画

①主な質問

- ・主催事業について多くの方にご参加いただいているものもあれば、非常に興味深く、大事なと思われる事業に、意外と参加される方が少ないものも見られて、もったいないと思う。事務局としてどのような取り組みがあったのか。
- ・教育機会の学習支援の小・中学校を中心とした授業の一環として利用で、件数が昨年よりもふえたというようなご説明があったが、これがふえた理由は、特別な取り組みをしてふえたのか。
- ・環境プラザ展示コーナーが以前と比べて雰囲気はよくなったが、どういうところを工夫して改善したのか。
- ・相談業務について、いろいろなご意見や相談事項が、レファレンス、蓄積になってきていると思われるが、どのような形で分析、集約し、共同利用できるような形になっているのか。

②主な意見

<施設運営関連>

- ・これから環境活動に取り組む段階の方を対象と考える、という視点は非常に大ことである。その場合に、その層に合った広報の仕方をぜひ考えてほしい。地下歩行空間を対象にして宣伝のコーナーをつくるなど。
- ・学校の図書館ボランティアをしているのだが、いい環境の本を入れたいと考えている。情報発信をして、それぞれの図書館にも環境関連図書コーナーができるような形になればよいのではないか。
- ・環境プラザに子どもを連れてきた学校の先生に、団体やプログラムを紹介することから始めることが必要ではないか。マッチングを行う前に、まずは知っていただくということを提案したい。
- ・札幌市にバックアップしていただいて、最初は情報発信ということで、高校生や大学生に、既につながりのある教育機関への学習支援の中で呼びかけ、環境プラザのサポーター登録制度を少しずつ構築していったらどうか。
- ・企業とのタイアップというところに力を入れていただきたい。
- ・平日の集客に課題を持つよりも、選択と集中に注力した方がよいのではないか。教育機関が環境プラザをフィールドとして訪れる場合も結構あると思われるので、その準備や報告を考えても、スタッフの方に相当無理がかかっているようにみられる。
- ・個別の団体が学校とつながっていくのはなかなか難しい。どういった支援の仕方、つなげ方ができるのか、中間支援的な視点があればよいのではないか。

<事業関連>

- ・啓発事業の日程が土曜日の18時から20時に固定されている。土曜日であればもう少し早い時間など、参加しやすい時間帯にプログラムを組んでいただければ、もっといろいろな方が参加できるのではないか。
- ・今後も、こどもエコクラブの活動などが環境プラザの中にも展示されていくと、手づくりで温かみがあって、子どもたちの目線で具体的に動けると考えられる。
- ・環境プラザ専属こどもエコクラブは無理に広げる必要もないので、目当てがぶれないように、しっかりと計画を立てていきながら、今までやってきたことの一つの成果を生かし、ここでやる意味をしっかりととらえて進めていただければよいのではないか。
- ・さまざまな研究会や学会等でも札幌市環境プラザが作成、実践したプログラムを事例発表し、外に出して、評価をいただいたく取り組みをしても良いのではないか。
- ・ホームページにいかにアクセスしてもらえるかという視点ももっと重点的に考えていただきながらやっていければよいのではないか。
- ・環境や子ども向けのサイトなどについて、充実している企業もあるので、そういったところと連携をとりながら、まずはお互いにリンクを張るということがあれば、双方にとってもメリットがあるのではないか。